

## バランスのとれたレポートと専門家の分析

わずか1ポンドで FT の包括的な報道をお試しください。

1ポンドで試す

### フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ

#### フランクリン・テンプルトン、6年連続の資金流出へ

ハーセンスタブの投資会社が資産を流出させ、同社は米国のファンドマネージャーの中で最悪の状態になりそうだ



マイケル・ハセンスタブ氏のテンプルトン・グローバル債券ファンドは、昨年の最初の11か月間で46億ドルの償還を被った © FT montage / Bloomberg

ニューヨークのリチャード・ヘンダーソン 2020年1月7日

毎日の市場最新情報で先を行きましょう。

#### **FTのWhatsAppチャンネルに参加する**

調査グループモーニングスターの最新データによると、フランクリン・テンプルトンは2019年に米国のどのファンドマネージャーよりも多くの資金流出を記録する見込みで、その筆頭は新興市場の専門家マイケル・ハセンスタブ氏が運営する債券ファンドからの投資家流出だ。

データによると、投資家は昨年の最初の11か月間に同社の投資信託と上場投資信託から210億ドルを取り返しており、これは週当たり4億3000万ドルのペースだ。

この資金流出は、2014年まで遡る一連の年間投資家資金引き揚げの延長であり、11月末時点で6920億ドルだった同グループの運用資産のかなりの部分を占めている。この金額は、市場高騰により同業他社のアクティブファンドからの資金流出が隠蔽されたにもかかわらず、過去5年間で4分の1減少している。

最も大きな流出はハセNSTAB氏が率いるテンプルトン・グローバル債券ファンドからのもので、償還額は46億ドルに上った。

ハセNSTAB氏は、安価で人気のない国債に大胆に投資することで有名だが、昨年は2つの大きな出来事で不利な状況に陥った。同氏のファンドは米国債の値上がりにほとんど乗れなかった。また、マウリコ・マクリ大統領が失脚したアルゼンチン国債でも大きな損失を被った。\*ファンドはベンチマークであるFTSE世界国債指数を5.3%下回った。

モーニングスターのデータによると、資産が減少した他のファンドには、米国に重点を置く株式ファンドのフランクリン・ミューチュアル・シェアーズファンド（34億ドル）、およびグローバル株式ファンドのフランクリン・ミューチュアル・グローバル・ディスカバリー・ファンド（31億ドル）がある。両ファンドとも今年のベンチマークも下回った。

こうした資金流出は、アクティブ運用マネジャーにとって、比較対象となるベンチマークを上回るパフォーマンスを上げつつ、パッシブ投資の猛攻と戦うという課題を反映している。

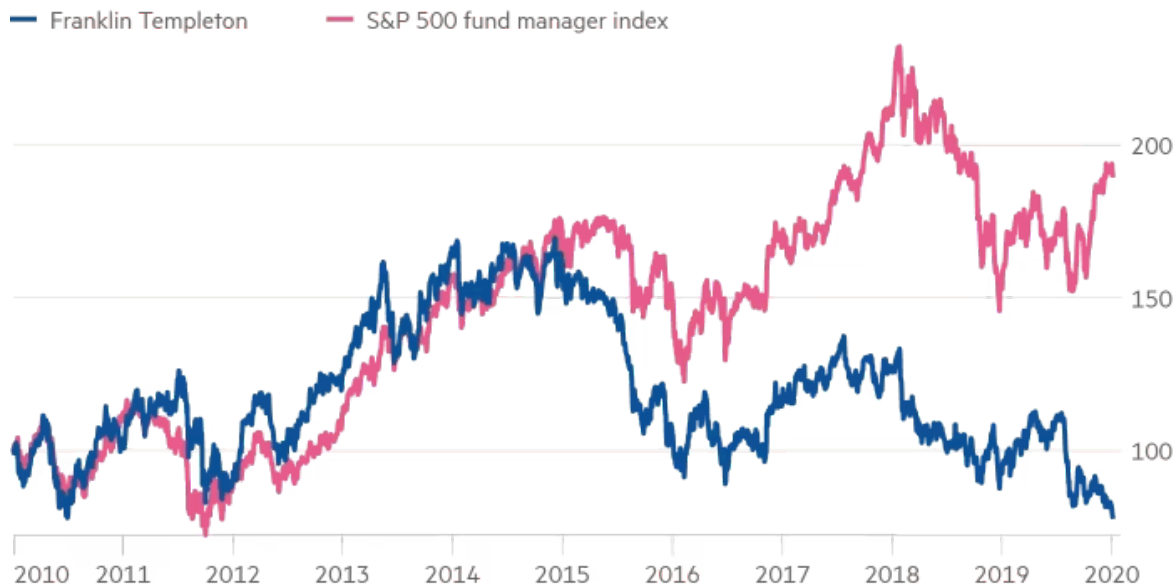
モーニングスターの最新推計によると、フランクリン・テンプルトンは、2019年の最初の11か月で200億ドルの流出を経験したインベスコと170億ドルの流出を経験したTロウ・プライスを上回った。各社は今後数週間で通年の数字を発表する予定だ。

T・ロウは、こうした資金流出は投資信託など同社が運用する他のファンドへの資金流入によって相殺されたと述べた。

ブルームバーグによると、フランクリン・テンプルトンの親会社であるフランクリン・リソースズの株価は過去5年間で半減しており、この急落にもかかわらず、同社の株式をカバーしている12人のアナリストのうち誰も買い推奨をしていない。ホールド推奨はわずか4人、8人は投資家に売りを勧めている。

## Franklin Templeton stock lags peers

(rebased)



Franklin Templeton stock trades as Franklin Resources

Source: Bloomberg

© FT

カリフォルニア州サンマテオに本社を置く創業72年のこの会社は、儉約と慎重さの意味合いを借用して、米国建国の父ベンジャミン・フランクリンにちなんで名付けられた。同社は、プロの投資家が運用する投資信託を通じて一般投資家と市場を結び付けることで、世界最大級のファンド会社に成長した。しかし、同社は過去10年間のパッシブ投資への劇的な変化に十分な備えができておらず、パッシブETFシリーズを初めて立ち上げたのは2017年になってからだった。

同社は、2018年に買収したプライベートクレジット部門のベネフィット・ストリート・パートナーズを含め、ETFとオルタナティブ投資のサービス拡充に注力しており、成長のためにさらなる買収も検討すると述べた。

「当社は強固なバランスシートを有しており、戦略的成長のため、さまざまな規模の買収活動をより積極的に行う予定だ」と広報担当者は述べた。

シティのアナリスト、ビル・カツツ氏は10月に「費用面では勇気づけられ、合意が近づいているという感覚もあるが、資金流入の見通しは徐々にマイナスになっている」と述べた。

来月最高経営責任者に就任する同社の創業者ルパート・ジョンソン氏の孫娘、ジェニファー・ジョンソン氏は、ポートフォリオ管理をサポートするためにデータサイエンスの活用を増やしたいと考えています。

「あらゆるところから破壊的な変化が起きており、私たちは常に、これが自分たちのやりたいことを達成するのに最善のモデルなのかどうか自問自答している」とジョンソン氏はフィナンシャル・タイムズ紙との最近のインタビューで語った。「それが鍵だ」

\*この記事は1月7日にTロウ・プライスからの内容を追加し、ハセNSTAB氏のアルゼンチン国債の損失に関する誤った数字を削除するために修正されました。

---

[Copyright](#) The Financial Times Limited 2024. 無断転載を禁じます。

---

